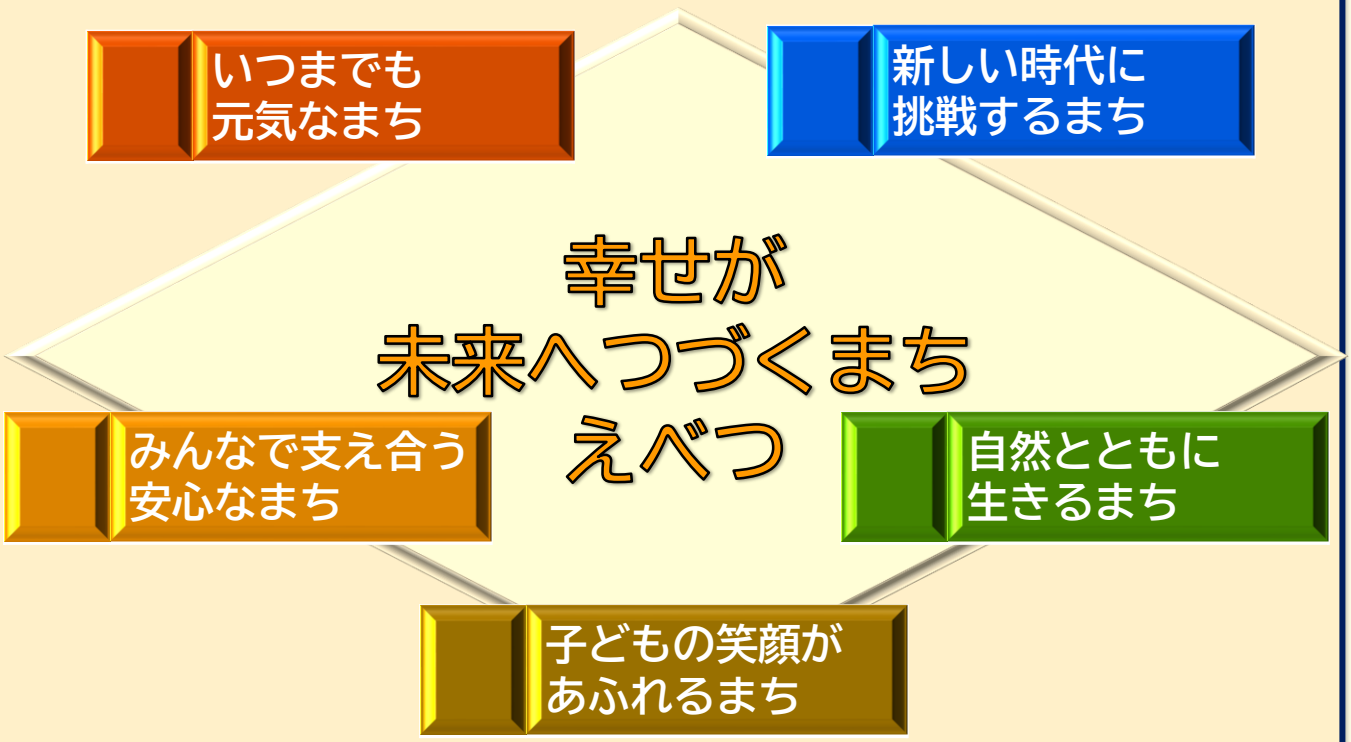
資料１

第１編　令和６年度予算の全体像

Ⅰ　基本方針

令和６年度は**「えべつ未来づくりビジョン」（第７次江別市総合計画）**の初年度となります。

「えべつ未来づくりビジョン」に掲げた**「将来都市像」**と**「５つのまちづくりの基本理念」**の考え方を踏まえたまちづくりを進めます。



この基本理念に基づいた**「まちづくり政策」**を進めるため、**「えべつ未来戦略」**を政策の中枢に据えて重点的・集中的に取り組みます。

また、人口減少と地域経済縮小の克服、まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立のため、「江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を効果的に進めていきます。

みんなが支え合う、いつまでも元気に暮らせるまち

健康都市推進事業　１，２０９千円

全ての市民が生涯を通じて健康に過ごせるように、「健康都市宣言」に基づき、健康意識向上のための取組を推進します。

◆　野菜摂取をはじめとした、食からの健康づくりを推進
◆　健康チェック等体験型イベントの実施（えべつ健康フェスタ２０２４）

健康フェスタ２０２３

健康づくり推進員による活動

健康づくり推進事業　９，１７０千円

えべつ市民健康づくりプラン２１（第３次）に基づき、生活習慣病の予防や、こころの健康づくり等の取組を行い、地域の健康づくり活動を推進します。

◆　健康づくり推進員の活動支援
◆　食生活改善推進員養成講座
◆　生活習慣病予防教室（中学生）
◆　自殺予防のための普及啓発・人材育成
◆　地域での健康教育・健康相談

成人検診推進事業　８８，３１５千円

がん等の早期発見、早期治療のため、がん検診等の受診勧奨及び受診しやすい環境づくりを行います。

◆　集団検診事務の一括委託（受付業務、電話受診勧奨、Ｗｅｂ予約運用）
◆　がん検診等の実施

集団検診バス

高齢者保健・介護予防一体的実施推進事業　８，６７３千円

高齢者の医療・介護・保健データの一体的な分析により、健康課題の把握を行い、個別支援と通いの場等を活用した健康教育を通し、保健事業と介護予防を一体的に実施することで健康寿命の延伸を図ります。

◆　通いの場等への専門職派遣による健康教育・健康相談、フレイルチェック、重症化予防（個別支援）
◆　拡大　健診未受診者等、健康状態が不明な高齢者に対する訪問

リハビリテーション職による地域活動支援

【国民健康保険特別会計】特定健康診査等事業　７２，３５０千円

国民健康保険被保険者に対する特定健康診査や特定保健指導を実施します。また、特定健康診査受診率や特定保健指導利用率向上のための取組を推進します。

◆　北海道国保連合会の共同事業を活用した受診勧奨ハガキの送付
◆　保健師による低受診率地区への訪問・電話勧奨

【介護保険特別会計】一般介護予防事業　７，５３８千円

社会に参加しつつ、地域で自立した日常生活を営めるように、介護予防の普及啓発に取り組みます。

◆　フレイル（虚弱状態）予防対策の実施
◆　口腔機能向上対策の実施
◆　住民主体の「通いの場」支援
◆　介護予防教室、出前講話等の実施
◆　リハビリテーション職による地域活動支援

新型コロナウイルスワクチン接種事業　８０，５８４千円

６５歳以上の高齢者等の重症化予防を目的に、予防接種法に基づく定期接種として実施します。

◆　市内医療機関での接種体制の確保

身体障害者訪問入浴サービス事業　８，３２２千円

障がいなどにより自宅での入浴が困難な方に対し、移動入浴車が自宅を訪問し、入浴サービスを提供します。

◆ 拡大 サービスの利用回数を週１回（夏季のみ週２回）から通年週２回に拡大

新規 重度身体障がい児（者）施設入浴事業　１，７６３千円

重度の身体障がいにより、自宅等での入浴が困難な児童等に対し、施設での入浴サービスを提供します。

◆ 施設での入浴サービスの提供

特殊浴槽

障害者社会参加支援事業　５，９１５千円

専任手話通訳者の配置や手話通訳者・要約筆記者の派遣、点字・音声による広報えべつ等の発行など、障がい者の自立や社会参加を促進します。

◆ 手話通訳者・要約筆記者の派遣
◆ 「点字広報」、「声の広報」の発行
◆ タブレットによる「遠隔手話サービス」の提供

手話通訳

新規 【介護保険特別会計】介護保険認定業務システム導入事業　１５，０１７千円

デジタル技術の活用により、要介護等認定における業務効率化を図るとともに、迅速な認定により介護保険のサービスを必要とする市民が速やかに利用できるよう、市民サービスの向上を図ります。

◆ タブレットを用いた認定調査システムの導入

【介護保険特別会計】高齢者緊急通報サービス事業　８，０４７千円

６５歳以上の高齢者世帯に対し、家庭内における事故等の発生に迅速かつ適切な対応ができるよう、民間事業者と連携した見守り体制を整備し、在宅生活を支援します。

◆ 拡大 駆け付けサービスの提供
◆ 拡大 センサー機器による安否確認
◆ 拡大 専門職による相談体制
◆ 端末機器の整備

生活困窮者自立支援事業　３２，９１９千円

生活困窮者支援を通じて、地域福祉の充実を図ります。

◆ 自立相談支援事業
◆ 家計改善支援事業
◆ 就労準備支援事業
◆ 新規 ひきこもり支援推進事業
◆ 住居確保給付金支給事業

その他主要事業（政策３）

■社会福祉協議会補助金	１００，１１３千円
■夜間急病センター運営経費	１５２，６８５千円
■高齢者予防接種経費	７３，１８７千円
■障害者自立支援給付費	３，９７７，０１７千円
■障害者自立支援給付費（児童）	１，２４６，０３８千円
■自立支援医療給付費	１７８，９６８千円
■重度心身障害者医療費助成事業	２０６，００７千円
■救急医療対策事業（内科系二次救急）	１１，５３２千円
■年末見舞金支給事業	１８，８４６千円
■後期高齢者健診推進事業	２７，６０８千円
■生活保護費	２，７００，０００千円
■国民健康保険会計繰出金	１，０４９，１８７千円
■後期高齢者医療会計繰出金	５５３，３９４千円
■介護保険会計繰出金	１，６５２，２０９千円
■病院事業会計繰出金	１，４９７，４８６千円

子ども医療費助成事業　317，540千円

子どもの医療費の一部を助成することで保護者の負担軽減を図ります。

◆ 拡大 中学３年生までの医療費助成
（通院医療費助成対象に小学４年生から中学３年生を追加）

保育人材等確保対策事業　22，945千円

保育の質の維持・向上に向け、保育従事者の養成や教育・保育施設等に対する保育士等の人材確保のための助成を行います。

◆ 保育従事者の養成
◆ 保育士等奨学金返還支援事業
◆ 保育士等アパート借上支援事業

子育て支援員研修

地域子育て支援拠点事業（子育てひろばぽこあぽこ）　34，257千円

令和５年１２月にリニューアルオープンした子育てひろば『ぽこあぽこ』を運営します。季節や天候を問わない全天候型で、大型複合遊具などを備え、子どもが自由に遊べる空間を提供します。

◆ 子育てひろば『ぽこあぽこ』の運営
◆ 子育て講習会等の開催
◆ 子育て支援コーディネーターによる子育て相談
◆ 託児ルームの併設

リニューアルオープンしたぽこあぽこ

子ども家庭センター運営経費（家庭支援事業含む）　11，108千円

育児・家事等の支援や、子どもの発達の状況に応じたかかわり方の助言や支援を行い、親子間の適切な関係構築を図るとともに、家庭や養育環境を整え、虐待等の未然防止を図ります。

◆ 新規 子ども家庭センターの運営
◆ 拡大 訪問による生活支援の実施
（ヤングケアラーが対象に追加）
◆ 新規 親子関係の構築に向けた支援の実施

新規 給付費等管理システム導入事業　11，978千円

デジタル技術の活用により、教育・保育施設の給付申請等における業務効率化を図ります。

◆ 給付費等管理システムの導入

保育料の独自削減

「えべつ・安心子育てプラン（江別市子ども・子育て支援事業計画）」に基づき、子育て家庭への経済的負担を考慮し、引き続き０～２歳児の保育料の軽減を図ります。

◆ 市の独自削減率25.82%

子育て世代包括支援事業　20，975千円

妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行うことで子どもを産み育てやすい環境を整え、保健指導・相談支援により、妊産婦、乳幼児の健康の保持増進と虐待の早期予防を図ります。

◆ 拡大 産後ケア事業の自己負担額軽減
◆ 拡大 赤ちゃん訪問の全戸実施

新規 不妊治療等助成事業　3，698千円

特定不妊治療と併用して実施した「先進医療」は医療保険適用外のため医療費が高額となることから、先進医療の受診に要した費用の一部を助成し、妊娠を望む市民の経済的負担軽減を図ります。

◆ 治療費の助成
◆ 交通費の助成

スクールソーシャルワーカー事業　１１，２５７千円

いじめ・不登校・家庭環境などの課題を抱える児童生徒やその保護者に対し、スクールソーシャルワーカーが福祉分野の専門的な知識や経験を活用して支援を行います。

◆ 拡大 スクールソーシャルワーカー増員（３人→４人）
◆ 課題を抱える児童生徒に対する支援
◆ 学校・家庭・関係機関との連携調整

いじめ防止対策事業　２，４０５千円

ハイパーＱＵや「心のダイレクトメール」などの取組を通じて、いじめの早期発見・早期対応を図ります。

◆ 拡大 これまでの中学校１年生に加え、小学校６年生を対象にしたハイパーＱＵの実施
◆ いじめ根絶をテーマにした中学生サミットの開催
◆ 「心のダイレクトメール」の実施

不登校児童生徒支援事業　１９，３７９千円

児童生徒の不登校の未然防止を図るとともに、不登校やその傾向にある児童生徒の教育の機会及び居場所の確保を図ります。

◆ 拡大 不登校児童生徒を対象とした適応指導教室の常設化
◆ 専任指導員などによる教育相談
◆ 小中学校への登校サポーター派遣

スクールカウンセラー事業　２，６６４千円

小中学校に、臨床心理士などのカウンセラーを派遣し、児童生徒や保護者へのカウンセリング等を通じて、いじめや不登校などの課題に対する支援を行います。

◆ 拡大 小学校へのカウンセラー派遣（１校当たり年４時間→月４時間）
◆ 中学校へのカウンセラー派遣（１校当たり月２回、４時間／回）

放課後児童クラブ運営費補助金　２４７，４２３千円

民間放課後児童クラブに対し、運営に係る費用の一部を助成し、放課後児童健全育成の充実を図ります。

◆ 民間放課後児童クラブへの運営費補助
◆ 新設民間放課後児童クラブへの施設整備等補助
◆ 拡大 待機児童の発生が見込まれる小学校区等に新規クラブを開設（２２クラブ→２５クラブ）
◆ 新規 事務補助員の配置補助
◆ 新規 ＩＣＴシステム導入補助

放課後児童クラブ運営事業　１９，５４１千円

公設放課後児童クラブの運営を民間事業者に委託し、放課後に親子共々安心できる「生活の場」を提供します。

◆ 江別第一小学校放課後児童クラブの運営委託
◆ 新規 ＩＣＴシステムの導入

児童館地域交流推進事業　７８，４８９千円

市内７か所の児童センターにおいて、地域との交流を通して、遊び・行事・イベントなどの活動を実施します。
また、併設された２か所の公設放課後児童クラブを運営します。

◆ 児童センター（７館）の運営
◆ 放課後児童クラブ（２クラブ）の運営
◆ 新規 ＩＣＴシステムの導入（児童クラブ）

放課後児童クラブ施設整備事業　９５，２６８千円

今後待機児童が発生する可能性の高い小学校区の管理住宅等を改修し、児童が放課後を安心安全に過ごすことができる体制を整備します。

◆ 中央小学校区
◆ 江別太小学校区
◆ 大麻泉小学校区

その他主要事業（政策６）

■保育園運営経費	１７９，８０２千円
■延長保育事業	２３，７５６千円
■教育・保育施設等給付事業	３，８３６，２３３千円
■一時預かり事業	１２８，０７４千円
■病児・病後児保育事業	３３，６６４千円
■児童手当	１，７３５，５５５千円
■児童扶養手当	４３４，６０５千円
■ひとり親家庭等医療費助成事業	３９，２６３千円
■予防接種経費	２３８，６３１千円
■妊産婦健康診査経費	５４，０４０千円
■子育てサービス利用者支援事業	１１，０３７千円
■特別支援教育推進事業	４４，８８４千円
■特別支援学級生活介助事業	７２，７７４千円
■学校給食事業	３４９，３５８千円
■児童生徒体力向上事業	６４８千円
■小学校教師用指導書及び教科書整備費	４７，３３７千円

特　別　会　計　　25，778，000千円（前年比△196，000千円、△0．8%）

国民健康保険特別会計　12，200，000千円

国民健康保険の被保険者に対して、疾病、負傷、出産又は死亡に関する保険給付や健康の保持増進に向けた事業を実施します。

- ◆ 北海道国民健康保険運営方針に基づき、北海道と一体となって国民健康保険の適正な運営に努めます。
- ◆ 資格管理や保険給付を適切に実施するとともに、医療費の適正化に取り組みます。
- ◆ 特定健診の受診促進や保健事業を推進します。

後期高齢者医療特別会計　2，253，000千円

主に７５歳以上の方が加入する後期高齢者医療制度について、被保険者証の交付や保険料の管理、各種申請受付等の事務を行います。

- ◆ 被保険者から収納した保険料を、北海道後期高齢者医療広域連合へ納付します。
- ◆ 所得が少ない方の保険料軽減のため、一般会計から繰り入れを受けます。

介護保険特別会計　11，112，000千円

高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、介護保険事業の円滑な運営を図ります。

- ◆ 第９期介護保険事業計画（令和６年度からの３か年計画）を推進します。
- ◆ 介護予防の取組や地域包括支援センターの運営のほか、認知症施策などの地域支援事業を実施します。

基本財産基金運用特別会計　213，000千円

江別市有林処分金をもとにした市の財政に寄与するための基本財産基金について、その運用の経理を明確にするための会計です。

- ◆ 基金で保有している土地の管理経費
- ◆ 市の投資事業等に対する債権運用
- ◆ 土地・現金の運用益の基金への繰出金

公営企業会計　　18，032，759千円（前年比△409，829千円、△2．2%）

水道事業会計　3，698，965千円

- ◆ 水道事業では、災害に強く安全・安心な水道水を安定的に供給するため、老朽化した配水管の布設替による耐震化等管網整備を行うほか、上江別浄水場・配水池の設備更新等を実施します。

下水道事業会計　5，480，813千円

- ◆ 下水道事業では、衛生的な生活環境を確保するため、老朽化した下水道管路の改築・更新を行うほか、浄化センター・ポンプ場の設備更新等を実施します。

病院事業会計　8，852，981千円

- ◆ 令和6年3月策定予定の「江別市立病院経営強化プラン」に基づき、持続可能な地域医療提供体制を確保するため、市立病院の経営強化を着実に進めます。
- ◆ DPC対象病院として急性期医療の充実、制度に対応した収益性の高いマネジメントを実施します。
- ◆ 高度医療機器の活用やチーム医療の充実による外来機能の高度化、専門化を図ります。
- ◆ 他の医療機関とのネットワーク強化を進め、市民にとって最適な医療を提供できるよう、体制整備に取り組みます。
- ◆ 医育大学との共同研究を進め、「高度先進地域医療」の実現を目指します。

江別市水道庁舎

江別市立病院